Press Release

2017 年 3 月 28 日
株式会社 ディー・ディー・エス
www.dds.co.jp

インターネット技術の国際標準化団体“W3C”に加盟

～Web プラットフォーム(OS や Web ブラウザ)標準化における FIDO 認証の普及を推進～

指紋認証を始めとした様々なセキュリティ・ソリューションを提供する株式会社ディー・ディー・エス（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：三吉野 健滋、以下、DDS）は、インターネット技術の標準化団体 “W3C”（ 呼称はダブリュ・スリー・シー、World Wide Web Consortium の略、以下W3C）に加盟した事を本日発表いたします。

DDS は 2014 年 4 月から、オンライン本人認証の技術仕様の標準化を推進する国際的標準化団体「FIDO アライアンス」に参加し、国内での FIDO 認証の認知度を向上すべく活動して参りました。今般、W3C の標準化活動において、オンライン認証の FIDO アライアンスとの連携が本格化しはじめ、双方の標準規格を包含する新規格が検討されています。これを機に、DDS も FIDO 認証のデファクトスタンダード化を推進するためW3C に加盟し、国内外でのインターネット技術の標準化活動のサポートを開始いたします。

現在 FIDO アライアンスでは、FIDO 認証をあらゆるインターネット環境で利用できることを目的として次世代のW3C 標準規格に対応する新仕様の策定が行われております。具体的には、FIDO アライアンスと連携してW3C 内に新設された Web 認証ワーキンググループにおいて、「Web 認証 仕様」の策定が進んでおり、この取り組みは、現状広く使われている主要な Web プラットフォーム(マイクロソフト社 Windows のような OS や Google 社 Chrome のような Web ブラウザなど）に FIDO 認証が組み込まれ、インターネット利用における本人認証を利用者目線で標準化していくことを企図しています。この結果、利用者が Web につながる様々なデバイスを購入すれば複雑な操作を経ることなく直ちに安全・安全な認証手段が利用可能なインターネット環境の実現をめざしています。

DDS は、本格的な IoT 時代が到来し便利なオンライン認証が幅広く必要となる世界を踏まえ、ネット上での簡単便利でセキュアな本人確認手段の普及を目的として今後も活動して参ります。

≪ W3C コメント≫

W3C は、DDS のW3C への加盟と Web セキュリティーコミュニティーへの参加を歓迎します。W3C は、DDS が Web 認証を通じてパスワードに代わる安全な本人確認手段をインターネットの世界にもたらすと考えています。

W3C　戦略責任者　ウェンディ・セルツアー

≪World Wide Web Consortium (W3C)について≫

World Wide Web Consortium (W3C)は、インターネットで使用される各種技術の標準化を推進する為に設立された非営利の標準化団体です。世界中の様々な業界の企業が加盟し、インターネットの可能性を最大限に導き出すために、仕様やガイドライン、あるいはソフトウェアやツールといった相互運用可能な技術を開発しています。

Press Release

≪株式会社ディー・ディー・エスについて≫

当社は、指紋認証ソリューションのリーディングカンパニーとして創業以来、産学連携による技術開発に積極的に取り組んでおります。多様化する情報セキュリティ・ソリューション・ニーズに対C応可能な「多要素認証プラットフォーム EVE MA」および「指紋認証ソリューション EVE FA」をはじめとする情報セキュリティ製品の開発・販売を行っております。

2014 年 4 月、オンライン認証の標準化団体である FIDO (Fast IDentity Online) アライアンスに、国内企業として初めて加入。2015 年 10 月には、FIDO 認定製品である指紋認証デバイス “magatama™” を発表し、本人認証の世界を広げる新しい認証サービスの普及に努めております。

≪本件に関するお問い合わせ先≫

株式会社ディー・ディー・エス
Email: info@dds.co.jp

・プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

・プレスリリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。また、プレスリリースにおける計画、目標などはさまざまなリスクおよび不確実な事実により、実際の結果が予測と異なる場合もあります。あらかじめご了承ください